



子ども・家族 marugoto プロジェクト～包摂型家族支援による子どもの貧困対策について～と題して、NPO 法人 抱樸の山田耕司氏が講演されました。

### 抱樸が行う子ども・家族 marugoto 支援とは・・・

- (1) 「食べる物が無い」「住む所が無い」「仕事が無い」だけではなく、「障がい」「家族絶縁」「孤立」「低学歴」「虐待経験」「貧困の世代間連鎖」の問題。
- (2) 「ハウスレス(物理的困窮)」だけでなく「ホームレス(関係性の困窮)」の問題
- (3) 「経済的困窮」と「社会的孤立」の問題は、ホームレスだけでなく、子ども、若者を含む生活困窮世帯全般の問題です。

この為子ども・家族 marugoto 支援が必要なのです。

### その事業内容は

- (1)包摂型世帯支援
- (2)訪問型相談支援
- (3)世帯に合わせたオーダーメイドで総合的な支援プラン
- (4)総合型ケースカンファレンス
- (5)総合評価(子ども、世帯の同時評価)
- (6)学習支援(集合型、訪問型)
- (7)子どもの居場所提供と社会参加支援
- (8)高校中退防止(学校との連携、出前講座など)
- (9)子どもを応援する地域づくり
- (10)施設整備(緊急受け入れシェルター、自立援助ホーム)



ホームレス支援から学んだ実践が子ども・家族 marugoto 支援の事業につながったのです。事例を聞くと大変な事業です。「抱樸」のミッションは「素のままの自分を受け止めてくれる人がいる、そして時に自分のために傷ついてくれる人がいることを知ること、人は安心することができる。」である。樸は原木・荒木。素のままの「樸」を抱きとめる。抱きとめられた「樸」には可能性がある。「樸」は時に荒々しく、刺々しい。抱きとめる側も時に傷つくこともある。「抱樸」の字のとおり、大変な活動に頭がさがります。「抱樸」の足元にも及びませんが、ホーモイが行なっている「生野きらきら子ども食堂」も(6)(7)(9)の役目が少しずつでも浸透して、「地域で子育てをしよう」という気運が高まるようになればと願っています



